

2015 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	教職科目
-----------	------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

教職科目では、100%（昨年度春学期 95%）の実施率であった。回答率は、84.1%（昨年度春学期 86.7%）であり、他の科目区分とほぼ同様の回答率である。

全体的な傾向として、以下 3 点が挙げられる。

- (1) 学生の授業内容理解度、授業中の意欲的な活動、知的好奇心、教員の話し方、授業方法、授業内容とシラバスの一致、教員の授業に対する配慮に関する項目はいずれも平均値 4.4 を超え、全体的にかなり高い。特に、授業時間以外の学習という項目以外では、いずれも評点が 5 の割合が最も高く、全学平均はもとよりすべて 5 割を上回っている。昨年度春学期とほぼ同じ状況を呈している。
- (2) 教職科目の学習時間が 0.74 時間(昨年度 0.62 時間)であり、作年度と異なり、全学平均を上回った。内訳として、0 分が 40%(作年度 39%) 30 分が 27.8%（昨年度 32.2%）となっている。昨年度春学期とほぼ同じ傾向を示すが、教室以外での学習時間が全体としては少ない傾向が見られる。
- (3) DWCLA10 の選択率は、思考力、コミュニケーション力、分析力がそれぞれ、59.7%(昨年度春学期 61.2%)、39.0%（昨年度 34.4%）であり、32.0%(昨年度 34.3%) プレゼンテーション力が 28.6%(昨年度 32.3%)であった。

教職科目は、ほぼ作年度春学期とほぼ同じ傾向を示している。引き続き、Active Learning や質の高い教師を育成するための取組を実施してほしい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター